

新潟大学 遺伝子倫理審査委員会 情報公開文書

①研究課題名	公開データによる細胞系譜別老化経路の解析
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	<p>本研究は 新潟大学の患者さん・ボランティアを対象とした研究ではありません。使用するデータは、米国国立衛生研究所（NIH）が収集し、個人が特定できない情報として加工した研究用データ（dbGaP 等）であり、国内の対象者は存在しません。そのため、対象者の選定や対象期間に該当する国内の患者・研究参加者はおらず、既存データの二次解析のみを行います。</p> <p>過去の研究課題名・研究責任者：該当なし (新潟大学で収集した試料・情報を再利用する研究ではないため)</p>
③オプトアウトの概要	本研究では、新潟大学で収集した患者試料・情報は一切使用しません。利用するのは、海外の公的研究データベース（NIH dbGaP など）から提供される、個人が特定できないよう加工された研究用データ（単一核 RNA 解析データ等）です。これらのデータは、海外の研究機関が倫理審査と研究参加者の同意に基づいて収集し、個人識別情報を削除したうえで NIH に提出されたものであり、新潟大学には「個人が特定できない情報」だけが提供されます。したがって、国内の患者さんが本研究の対象となることはなく、新潟大学の患者さんに研究参加の拒否機会（オプトアウト）を提供する必要はありません。
④申請番号	G2025-0017
⑤研究の目的・意義	人の脳や体は加齢に伴って変化しますが、どの細胞が先に老化を始めるのかについては、まだ十分に分かっていません。本研究では、さまざまな細胞を比べて、何がより早く老化するのかを解析します。この研究により、脳の老化メカニズムの理解が深まり、将来的な認知症や神経難病の予防につながる可能性があります。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から2028年03月31日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	<p>本研究で使用するのは、NIH dbGaP から提供される個人が特定できない海外データです。国内の患者情報を新たに取得することも、国内患者情報を外部へ提供することもありません。</p> <p>情報の利用目的：ヒト脳における細胞系譜別老化メカニズムを解析し、脳老化における細胞種間の違いを明らかにするために用います。</p> <p>利用方法：NIH より暗号化された形式で提供される研究用データを、新潟大学の管理環境および大学が許可した安全なクラウド環境（AWS 等）で解析します。データは研究目的にのみ使用し、第三者への提供は行いません。</p>

	ません。日本国内の患者さん情報は、本研究には一切含まれません。
⑧利用または提供する情報の項目	NIH dbGaP などが提供する、個人が特定できない研究用の遺伝子解析データ（例：単一核 RNA シーケンス（snRNA-seq）データ、基本属性情報〔年齢・性別など〕）。国内の患者さんの試料・情報の利用および提供は一切行いません。
⑨利用する者の範囲	新潟大学で遺伝子解析情報や臨床情報を利用いたします。 新潟大学 脳研究所 松井 秀彰 共同研究機関：なし
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学 脳研究所 松井 秀彰
⑪お問い合わせ先	本研究に対する同意の拒否や研究に関するご質問等ございましたら下記にご連絡をお願いします。 所属：新潟大学 脳研究所 氏名：松井 秀彰 Tel : 025-227-0646 E-mail : hide0729@bri.niigata-u.ac.jp